

HEALTH CARE

The Newsletter of the Japan Health Care Dental Association

vol.20 no.3

(年間5回刊行・通巻112号)



日本ヘルスケア歯科学会

事務局 東京都文京区関口 1-45-15-104

Tel. 03-5227-3716

Fax. 03-3260-4906

URL <http://www.healthcare.gr.jp>

E-mail : center@healthcare.gr.jp

編集代表 田中正大

編集制作 有限会社 秋 編集事務所

学会入会金 歯科医師 5,000円

その他 3,000円

学会年会費 歯科医師 12,000円

その他 3,000円

郵便振替口座 00190-7-407895

名義 一般社団法人日本ヘルスケア歯科学会

銀行振込口座 三菱東京 UFJ 江戸川橋支店

普 0051809

名義 一般社団法人日本ヘルスケア歯科学会

重要なご案内

● 以下の同封物をご確認ください。

1. 会員用ホームページパスワード変更のお知らせ
2. 高松ワンデーセミナー案内
3. 仙台ワンデーセミナー案内

催しものご案内

① 第2回ヘルスケア実践セミナー PART 1

日時：2017年9月17・18日

会場：コスモスクエア国際交流センター

② 歯科衛生士育成基礎コース

日時：2017年9月23・24日

会場：神戸常盤大学

③ 認定歯科衛生士実技検定会

日時：2017年9月23日

会場：神戸常盤大学

④ ヘルスケアミーティング2017

日時：2017年10月8・9日

会場：秋葉原コンベンションセンター

⑤ 福岡ウイステリアセミナー

日時：2017年11月12日

会場：カンファレンスASC

⑥ 高松ワンデーセミナー

日時：2017年11月26日

会場：高松市歯科医師会館 高松市歯科
救急センター

⑦ 仙台ワンデーセミナー

日時：2017年11月26日

会場：ハーネル仙台

巻頭 ヘルスケアミーティングへの参加のお誘い p.1	随筆5 椿 p.9
第14回認証ミーティング報告 p.2	ウイステリアProとアポイント管理職Ⅲ p.10
認定歯科衛生士検定会 日程追加案内/事務局から p.4	お勤めウイステリアバックアップシステム ... p.14
1,450ppmF フッ化物歯磨剤が発売開始! p.5	Do プロジェクト調査協力診療所募集 p.15
若手座談会 p.6	フォーラム p.16
告知板 p.8	ヘルスケアミーティング2017 p.19-20

新しく入会された皆さんへ ヘルスケアミーティングへの参加のお誘い

岡本昌樹 (コアメンバー)



今年も10月8日(日)・9日(月祝)に、東京秋葉原にある秋葉原コンベンションホールにてヘルスケアミーティング2017が開催されます。

これは一般的な学会の学術大会にあたるもので、毎年1回、主に東京(不定期に関西)で開催されてきました。ここ数年は遠方の参加者の方の利便性を考えて、10月もしくは11月の連休を利用した日程で東京駅や羽田空港からアクセスのよい秋葉原駅前の会場で行っています。

私たちはヘルスケアミーティングを、一つは学術大会として、そしてもう一つは大切な会員交流の場として企画運営してきました。学術大会としての詳細については別の案内に譲るとして、新たに入会された歯科医師、スタッフ会員のみなさんに関心を持ってもらえるようもう一つのヘルスケアミーティングをご紹介します。

医院全員で参加できるプログラム作り

この学会のイベント全般に言えることですが、多くの医院が歯科医師、スタッフ全員で参加されています。

私はよその学会に参加するとおじさんばかりの会場に違和感を感じますが、はじめてこの会に参加される会員のなかには、女性スタッフの参加者が多い会場に同じように違和感を感じるかもしれません。

すでにご理解いただいていることと思いますが、ヘルスケア診療には院長のリーダーシップは必要ですが、それにも増してスタッフの理解と協力が不可欠です。遠方の医院や家族のいるスタッフの方には困難な面もあるかもしれませんが、全員で参加して同じ情報を共有すること、そして自院で何ができるかを話し合ってもらうことがこの診療システムを理解する一番の近道と考えています。

今年も診療年数の少ない医院ではなかなか経験できない長期メンテナンスについての報告や成功例、失敗例を含めた貴重な症例報告を発表する予定です。医院のみなさんで共通の知識、経験としてこれからの診療にぜひ役立ててください。

全体交流会

せっかく遠方から会員がたくさん参加しているのに、誰とも話さずに帰ってしまったらもっ

たないじゃないか、懇親会には出なくてもお互い交流の場を作ろう。との意見から始まったプログラムですが、毎年「いろいろな人とたくさんお話ができてとても楽しかった」「医院でうまくいかないことにアドバイスをもらえて参考になった」など参加者のみなさんにとても好評で、回を重ねて隠れ人気プログラムとして定着しています。

初対面の人と話すのは苦手だな、という方も多いと思いますが、例年会場が静かなのははじめの数分だけで、その後は賑やかな話し声でいっぱいになります。自分だけの失敗だと思っていたことが話してみたら実はみんな苦労していたということも珍しくありません。せっかくの機会ですから、たくさんの情報と元気をもらって帰ってください。

ポスター発表

私たち学会のポスター展示は、会員の誰もが日頃の診療で気づいたことや医院での日常の取り組みを気軽に発表できる場でありたいと考えています。ヘルスケア歯科学会の方向性に沿ったものであれば、特に発表内容に制約は設けていませんので、あなたが伝えたいことをポスターに作りあげてください。

見る側、受け手から話す側、発信者に一歩踏み出すことで、ま

た多くの来場者から励ましや意見をもらうことで、医院そして発表者が大きく変わっていく姿をたくさん見てきました。

ポスター発表は会員のみなさんが自由に日常の成果を発表できる貴重な機会です。そして会員とはこのニュースレターを手にとっているすべての方です。今年は、あなたの気づきをたくさんの方と共有してください。

私自身もヘルスケア型診療を始めたころは、たくさんの失敗や疑問を抱えてヘルスケアミーティングや懇親会に参加していました。そこで多くの先輩方と話をし、貴重なアドバイスをたくさんいただきましたし、一緒にがんばろう！と背中を押されてここまでやってきました。その励ましがなければとても今のような診療はできていなかったと思います。

一歩踏みだしてみたがどうしていいか迷っている院長、勤務先でヘルスケア型診療に出会ったけどまだよくわからないスタッフのみなさん、ぜひヘルスケアミーティングに参加して私たちに声をかけてください、そして多くの参加者とお話しをしてみてください。きっと、みんながあなたを応援してくれるはずですよ。

たくさんの新しい会員のみなさんと会場でお会いすることを楽しみにしています。



第14回 認証ミーティング 開催報告

2017年7月2日

千里ライフサイエンスセンター サイエンスホール



外部審査員の和田恵美子さん
(京都学園大学 看護学科准教授)



外部審査員の中村雅美さん
(元日経新聞編集委員)

「健康を守り育てる歯科診療所」認証ミーティングが7月2日、予想を超える参加希望者があったため、会場を急遽立派なサイエンスホール（千里ライフサイエンスセンター内）に変更し、開催されました。今回のミーティングでは、ホームページで公開するビデオ撮影を兼ねて、杉山精一（代表）、藤木省三（副代表）、斉藤仁（副代表）の3人が、それぞれ「日本ヘルスケア歯科学会について」「認証診療所とは」「認証におけるポイント」と短くまとめて講演をした。さらにお弁当の時間には、「ランチのおじゃま」と題して食事参加者に、ざっくばらんに認証に至る苦労ばなしや認証取得後の変化を聞いて廻り、杉山さんや藤木さんがコメントを挟むランチ企画を行った。

- ・西村歯科（大阪府泉大津市）
- ・こんどう歯科医院（兵庫県神戸市）
- ・おおい歯科（大阪府岸和田市）
- ・たんぼぼ歯科クリニック（長野県茅野市）
- ・dental office おおとも（北海道札幌市）
- ・カメラアデンタルクリニック（長崎県大村市）

今回、認証申請したのは以上の6診療所で、いずれも合格点を越え、認証を受けることができた。最高点は、おおい歯科の84.79で、すべての内部審査員から80点を越える評価を得た。さ

すがに質疑では、「なぜ、今まで認証を受けなかったか」との質問があったが、大井さんは「スタッフが定着しない」などそれなりに困難な時期が続いたと返した。

この審査には歯科診療にかならずしも理解のない外部の目（外部審査員2名）を大切にしているが、採点では比較的厳しい評価をした看護師の和田さんも、真剣に地域住民の健康に尽くしている姿に感銘を受けたと印象を語った。

ミーティングの後、別室でビールとサンドウィッチの懇親会が開かれたが、多くの参加があり、普段にない賑やかな交流の場となった。

ミーティングが終わってコアメンバーらは、発表時間がややルーズになった点や、発表者に対する個別の事前サポート態勢が不十分だった点、やや質疑が低調だったことを反省点として議論している。また、一部の項目について採点のバラツキが大きかったので審査員の協議が必要という意見があり、症例報告をもう少し重視すべきではないかという意見もあれば、反対に認証診療所の位置づけをゴールとした時代があったが、ヘルスケア歯科診療の基本を満たしているスタートラインと位置づけるべきではないか、という意見もあって、こうした意見を元に今後認証ミーティングの若干の見直しが行われることになるだろう。（秋元秀俊）



西村 誠さん（西村歯科）



近藤明德さん（こんどう歯科医院）



大井孝友さん（おおい歯科）



小塚一芳さん（たんぼぼ歯科クリニック）



中川正男（大阪市開業）

「急がば回れ」…若手が認証取得を目指されることを願っています

今回認証診療所として認められた6 歯科医院の方々、合格おめでとうございます。

また我が大阪の地で初めて認証ミーティングが開かれ、大盛況に終わりましたことで、これが認証ミーティングの新たなスタートとなればと思っています。

私もできるだけ認証ミーティングに参加するようにしていますが、審査を受けるプレゼンを聞いてみると、審査を受けた当時の自分を思い出し、改めて緊張が走ります。また他の医院の認証発表を聞くことにより、医院の反省点になることが多く、見直すきっかけにもなりました。

振り返れば当院が認証を取得したのが8年前で、ヘルスケア歯科学会（研究会）入会后8年目でした。

それ以降大阪では認証診療所が当院を含め4 診療所という期間が長く続き、今回2 医院が取得され、やっと6 医院となりました。

大阪の歯科医院数が5,000 軒を超える現状から、バランスの取れたヘルスケア型歯科診療所の数は微々たるものですが、増えたという意義は大きいと思います。

ヘルスケア歯科学会の認証診療所に要求されるアンケート及び10 項目に及第点を得ることはやはり時間がかかります。

世の中は今歯科不況で、また予防ブームと言われ空前の歯科衛生士求人難ですが、認証診療所を取得された医院はシステムができており、比較的このことで問題は聞いておりません。やはり認証診療所取得を目指す過程において、歯科衛生士の育成を経験するためだろうと思われまます。

これは日本ヘルスケア歯科学会が設立当初から謳っている、歯科衛生士を育てる大切さを常に認識しているからで、本物と言えます。勿論、認証診療所取得は過程であり、目標ではありませんが、努力して得るものは大きいと思われまます。

「急がば回れ」と言いますが、これを機に若手の診療所が認証取得を目指すことを切に願っています。



森重創一郎（松山市開業）

認証ミーティングを見学して



大友康資さん（Dental office おおとも）

このほど大阪にて認証ミーティングが行われた。6 医院がエントリーし、審査員やスタッフ、見学者など 70 人余りが参加し、大いに盛り上がったミーティングとなった。

認証ミーティングとは、学会が「健康を守り育てる」ために必要な一定条件を満たす診療所を公に認証する制度だ。地域の口腔ケアを守り維持していくことは、院長一人が頑張っても実現しない。医院全体で取り組まなければ、本当の医療の質を上げられない。

今回の 6 医院は、見事に全医院が認証を受けるという素晴らしい結果となった。参加してみて感じたことは、すべての医院に共通したことだが、「チーム力」の存在である。

繰り返すが、院長一人頑張っても医院はうまくいかない。歯科衛生士、助手、受付全員が医院のひとつの目標に向かっていくことこそが、健康を守り育てるために必要なチーム力の真髄だろう。

目標が同じであればスタッフ参加型セミナーや院内ミーティング、資料採りにデータ分析、何より認証医院づくりへのステップも進めやすくなる。自分の医院に必要なこと、それが見えたミーティングになった。

最後に認証医院はあくまでもスタートラインに過ぎない。確かに一つの目標ではあるがゴールではない。ゴールは遥か彼方、地域の方々の幸せの維持なのだから。



長岡 守さん（カメラアデンタルクリニック）



日程追加の案内

2017 年度実技検定会の日程を追加します。基礎コース 1 日目と同時開催（神戸）、検定会は 3 回開催となります。

認定歯科衛生士実技検定会

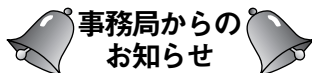
- 定員 16 名（再検定者含む）
- 受検資格：学会会員
- 受験料：各回 15,000 円
- 再検定：5,000 円

追加

第 6 回 日 程： 2017 年 6 月 11 日（日）
 会 場： 太陽歯科衛生士専門学校
 申込締切 5 月 26 日（先着順）

第 7 回 日 程： 2017 年 9 月 23 日（土祝）
 会 場： 神戸常盤大学
 申込締切 9 月 5 日（先着順）

第 8 回 日 程： 2018 年 2 月 4 日（日）
 会 場： 太陽歯科衛生士専門学校
 申込締切 1 月 19 日（先着順）



● クレジットカード決済導入予定のおしらせ

本学会では、従来の郵便振込に加え、クレジットカード決済による会費納入ができるように準備を進めております。学会ホームページより、年会費のお支払いを選択していただき、会員種別を選択、都度のお支払い、もしくは毎年の継続お支払いを選択できるように予定しております。使用できるカードは、VISA、MASTER、AMEX、DINERS です。準備が整い次第、再度ご案内いたします。

◆ 新入会 法人会員

インターアクション株式会社（武蔵野市）
代表：畑 めぐみ
事業内容：出版・セミナー

1,450ppmF フッ化物歯磨剤が発売開始！

口腔衛生学会での情報も含めて

杉山精一（日本ヘルスケア歯科学会代表）

厚生労働省が2017年3月17日付で1,000ppmFを越えるフッ化物歯磨剤の製造を承認しました。（薬生薬審発0317第1号 薬生安発0317第1号）¹⁾同時に日本歯磨工業会から1,000ppmFを超え1,500ppmFを上限とする高濃度フッ化物歯磨剤について「6歳未満の子供への使用を控える」, 「6歳未満の子供の手の届かない所に保管する」を記載すること²⁾という文書が出されました。

国際的な標準規格を定めるISOでは、以前よりフッ化物配合歯磨剤のフッ化物は1,500ppmFと定められていましたが、日本では厚生労働省の薬用歯磨き類製造承認基準で90～1,000ppmFとなっていましたので、ようやく国際的な水準となったものです（但し米国は1,100ppmF）。

ヨーロッパ小児歯科学会のフッ化物利用ガイドライン³⁾によると、1,000～1,100ppmFに比べて1,450～1,500ppmFはう蝕の予防効果が8%上がるとされています。8%というのはたいして変わりないと思われるかもしれませんが、歯みがき剤は毎日長期間使います。8%という根拠となったのは臨床研究からの結果で、これらの研究はほとんどが2～3年での結果ですので、5年10年と長期にわたり使用した場合の予防効果は8%よりかなり大きなものとなる可能性があります。参考までに、フッ化物なしの歯磨剤に比べてフッ化物ありの歯磨剤を比較した場合の予防効果は24%ですが、USAのCDC⁴⁾あるいは「デンタルカリエス

（O.Fejerskov & E.Kidd 編）の中にも、これらは臨床研究から算出された数値であり、歯磨剤のような毎日長期にわたるものの予防効果はさらに高まると考えていいと書かれています。

5月末現在でサンスターとライオンからそれぞれ1種類の1,450ppmF歯磨剤の発売がアナウンスされています。山形で開催された日本口腔衛生学会でフッ化物歯磨剤に詳しい関係者何名かにいくつか疑問点を尋ねてきました。

① 現在サンスターとライオンからしか発売のアナウンスがないが、他のメーカーはどうか？

おそらく他のメーカー、さらに海外のメーカーもISO基準だと参入しやすいので、今後追随すると思われる。

② 今までの1,000ppmF（900～950）は、1,450ppmFに移行するのか？

各メーカーとも消費者などの反応をみて判断すると思われる。技術的にはそれほど困難はない。

さらに、荒川浩久教授（神奈川歯科大学口腔保健学）は「従来から1,000ppmF以下としていた薬用歯みがき剤製造承認基準⁵⁾が1,500ppmFに変更されたということではなく、この基準はそのままだが、

メーカーの申請を受けて承認されている」という説明がありました。やや理解しにくい事情ですが、薬事当局の都合でこのようになっているようです。そうすると、もしかしたら、さらに高濃度の2,500ppmFや5,000ppmFの高濃度フッ化物歯磨剤（海外では通常処方薬扱い）も承認されるのではないかと期待しましたが、今のところこれは難しいようです。

私たちにとっては、予防効果の高い歯磨剤が簡単に入手できるようになることは大変嬉しいことですが、販売現場のドラッグストアなどで、1,450ppmF歯磨剤についての正しい情報提供が必要です。さらに一昨年サンスターからOTC医薬品として発売されたフッ化物洗口剤エフコートは、現在は、薬剤師がいないと販売できない区分のOTCとなっています。このため地域の薬剤師会等と連携して、最近の新しいフッ化物配合剤について薬剤師へも情報提供することにより、これらの普及が進むのではないかと、尾崎哲則教授（日本大学歯学部歯学科医療人間科学）から説明があり、この点は確かに重要だと気づきました。



1) http://www.hamigaki.gr.jp/hamigaki1/pdf/fusso_t170317_mhlw.pdf

2) http://www.hamigaki.gr.jp/hamigaki1/pdf/fusso_t170317_jdma.pdf

3) <http://www.eapd.eu/dat/82C0BD03/file.pdf>

4) MMWR Recommendations and Reports August 17, 2001; 50(RR14): 1-42.

Recommendations for Using Fluoride to Prevention and Control Dental Caries in the United States

5) <https://www.pref.saitama.lg.jp/a0707/documents/0325-37.pdf>

● ホームページパスワード変更のお知らせ

2017年9月1日より会員用ユーザーID/パスワードを変更します。日本ヘルスケア歯科学会ホームページ「Members' site」にアクセスするにはIDとパスワードが必要です。このニュースレターに同封の別紙をご確認ください。2017年度会費納入済みの方にお送りしています。

若手座談会

ヘルスケアと出会う



本学会の設立趣旨の文章にみるように、本会設立時には、やる気を奮い立たせるようなフレーズが溢れていました。しかし設立して20年にもなりますと、設立時の会員と比較的新しい会員のものの考え方には、かなりギャップがあるはず（設立年から会員の方は現在210人、平均年齢61歳）。できるだけ若いドクターの声を反映した組織運営が望めます。そこで実践セミナーに参加した比較的入会歴の浅い若いドクターをお招きし、ウェブ上で座談会を開きました。

お招きした歯科医師：



ふるいちたかみつ
古市貴暢（医療法人社団 明恵会 古市歯科医院・高松市）香川大学医学部博士課程2005年修了後、父親が1970年に開業した医院を継いだ。40歳。



そのいれん
曾野偉錬（その歯科クリニック・神戸市）松本歯科大学2008年卒業後2015年開業。38歳。



きのしたまきこ
木下真千子（デンタルフリーまちこクリニック・鈴鹿市）朝日大学歯学部2002年卒業後、2010年開業。39歳。

司 会：秋元秀俊（本会事務局長・コアメンバー）

助言者：藤木省三（本会副代表・コアメンバー）、丸山和久（オピニオンメンバー）、

高橋 啓（企画育成委員会リーダー・コアメンバー）

□ 開業当初からヘルスケア型／紆余曲折／ウイステリア

秋元：まず、この学会との出会いからおうかがいできますか。

曾野：開業2年ですが、地元の中本（知之）先生や藤木（省三）先生にお会いして学ぶ機会があり、開業当初からヘルスケア型です。2年経ちますが、理想と現実の間で日々悩んでいるのが実状です。

古市：父が亡くなって新規に移転開業する機会にドリル&フィリングではない診療をしたいと考えているんなセミナーに通いました。そのなかで四国の浪越（建男）先生や高橋（啓）先生と出会い、道後温泉で藤木先生とお会いしたという経緯です。ヘルスケア歯科学会はフレキシブルですから、それがいい。たくさんセミナーを受講しましたが、ただ決まった型にはめるところは、なんだか信仰のようで肌に合わず、紆余曲折あって参加しています。

木下：2年前にウイステリアを導入し、

その後ウイステリアセミナーで藤木先生とお会いしてこの学会に参加するようになりました。

古市：地域への啓蒙を重視しているところも、この学会のいいところですね。そこには新鮮さを感じました。

□ 患者さんといっしょに悩む時間

曾野：私は歯科医師になる前に歯科技工士をしていたので、勤務医時代から補綴に対する考えとか、一応あったわけです。しかし、藤木先生にお会いして、いろんなことを教えていただいて、とくに病因論を考えて診療をするようになりました。病因論を考えると、生活背景などを知りたいですから、患者さんとの会話が大事になります。それで患者さんとお話する時間が増えました。今では、診療がほぼほぼ話で終わってしまうこともあります。勤務医の頃比べると楽しく診療できているかなと思います。

木下：私は予防をやっている学会を探し

てヘルスケア歯科学会に出会い、実践セミナーに参加していろいろ学ぶことができましたが、自分の医院だけではなかなか普及しない。私は、大きさに言えば、日本の歯科医療をよくしたい。そういう意味で、ワンデーセミナーで発表させていただくように、外に出て行くいいきっかけをいただきました。

曾野：モチベーションが上がるのは、ころざしのある先生の症例発表を聞いたときです。いま、予防的になればなるほど、治療に介入する時期をすごく悩みます。カリエスがあったとしても、その状態をキープする。う窩があってもそこを観察する。それが予防かどうか答えはないですが、そういうころざしのある先生の症例の話の聞くと影響されます。

古市：私も介入の時期を悩むようになりました。これは、僕としては贅沢になったものだと思います。昔は、脊椎反射のように、カリエスを見つけたら削っていましたが、今は患者さんといっしょに悩

める時間をもてるようになりました。デンタル、咬翼法を毎回撮って、患者さんとどうしましょうと、いっしょに悩む、これは幸せな時間です。

秋元：藤木先生、どうですか。いい話ですね。

藤木：ほんとに、こういう話を若い人から聞けるなんて、うれしいですね。

木下：いつ介入するかという、お二人の先生の言われることにも共感するのですが、いま自分が大事にしているのは、予防ケアをとおしてどんなふうに患者さんとかかわっていくか、ということです。小さい子どもから高齢者まで、いろいろな患者さんがいるわけですが、高齢の方でいえば、1年前にできたことがもうできないということもあるわけですね。そういう、患者さんの行く末を見据えて考えていかないといけないと思いはじめています。

□「壊れていくメンテナンス」も 含めて患者さんと共有

秋元：そうですね。高齢でなくても、補綴・修復の経過を長く診ていけば、必ず壊れていくわけです。歯科医は、それを嫌でも目にし、何か手を打つことを求められる。定期管理型の診療所の、この歯科医側の問題は、これまでヘルスケア歯科学会ではあまり語られてこなかったことですが、ここを不問に付したままのヘルスケア型診療というものもないわけです。患者さんと長くつきあえば必ず、壊れていくことへの対応が必要になるわけですね。

高橋：藤木先生がよく話される時間軸で考える臨床ですね。具体的にいうと短期的な治療計画と長期的な見通しをもつ、それを患者さんと歯科衛生士と共有しながら診ていく。長期的な見通しという意味では、「壊れていくメンテナンス」も含めて患者さんと共有していくこととなります。

古市：父が亡くなって8年になりますが、ドリル&フィリングの全盛期の人でしたから、修復物の多い患者さんについ

て、技術や材料の問題はあるのですが、それを受け容れてどう長持ちさせるか、下り坂に入った補綴物をどう見守るか、最後どういうふうに始末をつけるか考えさせられます。まさに「壊れていくメンテナンス」です。

「死ぬとき、どんななつとるかな」という話をされる患者さんもいて、「この歯があったら最期まで食べられますね」と、それこそターミナルの話になってしまします。

秋元：インプラント補綴も長い目でみると壊れていく…。

高橋：当然、うちにもインプラント周囲炎の患者さんがいます。できる限りケアするわけですが、同時にインプラント周囲炎に対するプランB、プランCというものがある。インプラント周囲の外科は延命措置にすぎません。本当にダメになるようなインプラントが出てきたら、インプラントを入れ直そうと思ってます。プランBですね。ところが開業13年になりますが、これがなかなかでてこない。周囲炎でも歯科衛生士が結構がんばるので、インプラントも粘るんです(笑)。で、意外とでてこない。プランBを皆さんに見せようと思って待っているんだけどでてこない(笑)。

□先を見通すことの難しさ

古市：現在の状況を診て、過去を振り返って原因を追及し、そこから未来を予測する。患者さんには、先を見越した話をさせてもらいます。ロンジェビティということですね。しかし、予期せぬこともあって、必ずしも思ったとおりにはありません。ここ数日前のことですが、白濁で経過を診ていたところが、う窩ができて痛みがでて来院された、ということがあって反省させられました。

藤木：患者さん本人だけでなく、子どもであれば保護者もいっしょ。大人でも、親子やご夫婦など生活環境に目配りする。結局、人を診るということですが、どこまでそういう見方ができるかという

ことですね。

木下：ここ数年、自分の考え方が変わっていっていますが、マルメ大学のダン・エリクソン先生のお話を聞く機会があって、「患者さんのカリエスは100%自分の責任だ」とおっしゃったことが印象的でした。患者が自分のリスクに気づいて生活習慣を変えていく、それをサポートしていくことが1本の歯の寿命を伸ばすことにつながる。その状況や年齢、その人のリスクを考えて、接し方も提案も変わっていかねばと考えています。

藤木：病因論に即した診療では、何が原因でこのう蝕ができたかと考えるわけですが、う蝕の発症プロセスにおいて脱灰—再石灰化は大事だけど、それだけではありません。これは伊藤中さんが指摘していることですが、中年、高齢者では隣接面にマイクロクラックができると、そこはブラシの毛先が届かないので、たんに脱灰—再石灰化のコントロールというわけにはいかない。そういう別のリスクもあるわけです。

□人を診る——サブカルテの活用

古市：患者さんを診るうえで、僕がその価値を改めて再認識したのは、サブカルテの役割です。いつも情報共有のために役だっているのですが、最近、歯科衛生士が育児休暇のために引き継ぎが生じているのですが、患者さんの情報を克明に記録してあるので、ひきつぎを受ける側が、実にスムーズで助かっています。今度認証を申請する西村歯科のサブカルテを見せていただいたのですが、お父さんの代からのもので、「これはたからもんやな」と思いました。私も、あのようなものを何十年もかけてつくっていきたい。

曾野：勤務医のときは、サブカルテはなかったのですが、いまはサブカルテの大切さを感じています。作成するのは、結局、診療終わりにまとめてするわけです。診療終わりの消毒滅菌は僕が全部やっているんですが、そのそばでスタッフがサブカルテを作成してくれている。作業を

しながら、患者さんについてディスカッションし、同時にサブカルテを作成していく。こういうやり方ですから、患者さんのことが記憶に残る、鮮明に思い出せるのです。ほんとうに役に立っています。

木下：私は、業務記録の形式ですが、朝もチェック、診療終わって最後にチェックと、サブカルテと同じように使っています。何もなければ私がOKとだけ、書きますが、「この分岐部のSRPは大変だけれどよろしく」という具合にこまかくコメントを入れます。家族が入院したとか、何かあって落ち込んでいるとか、どんな些細なことでも気づいたことをスタッフが書いてくれるので情報共有できて助かっています。

丸山：あるとき点の診療から線の診療にという説明を藤木さんがされて、とてもわかりやすくなったのですが、ひとくちで言えば僕らはホームデンティストのプロフェッショナルを目指しているんだなあと思います。

一生ながーく診ていくことが大切です、削って詰めることは急がない。そういうことはもう若い人に伝わらないんじゃないかな

いかと思っていましたが、実践セミナーで、皆でそういう議論ができてとてもうれいす。

高橋：サブカルテについて聞いておきたのですが、サブカルテを書いてチェックもしていますが、情報共有ツールですから、他にもあればそれはそれでいいんじゃないでしょうか。

藤木：情報共有ツールはいくつもあります。じかに話をするのが、すごく大事。症例検討会もいいです。要は、すべての情報を院長が把握し考え、スタッフに指示を出す。これが3年、10年と溜まっていく。そうして院長の目となり耳となる歯科衛生士というプロフェッショナルが育つ。

□実践セミナーで得たもの

高橋：第2期の実践セミナーに向けて、実践セミナーで何を得たか、お一人ずつ話していただけますか。

曾野：とにもかくにも仲間ができた。それが財産です。

古市：勉強は本を読めばいい。あるいは症例報告を聞けばいい。実践塾で何日間

か過ごしたことで、同じように悩むことのできる仲間と会うことができた。ここにお見せするのは、フェイスブックにアップされた写真ですが、早朝のハーフマラソンですが、こういうことでつながっていくんですね。

木下：私は、この場のいることにつながっていることひとつとっても、よかったなと思います。藤木先生のところを見学して、スタッフの皆さんの意識の高さ、そのチームワークの様子を拝見して、自分もこれを目指そうと思いました。それからは、ヘルスケアの催しにもスタッフ全員で参加するようにしています。

秋元：今日は、とても意義深いお話をありがとうございました。



告知板

敬称略

○第2回ヘルスケア実践セミナー

日時：

PART 1 2017年9月17・18日(日・月祝)

17日午後～18日正午

PART 2 2018年2月11・12日(日・月祝)

11日午後～12日正午

PART 1, PART 2とも全日程で参加ください
「ヘルスケアの実際がよく理解できた」
「仲間ができた」「いいアドバイスがもらえた」と好評を博した宿泊型セミナーの2回目です。

場所：コスモスクエア国際交流センター
(大阪)

参加費：60,000～70,000円(予定)

※参加費に宿泊代・食事代を含む。

お問い合わせ：日本ヘルスケア歯科学会事務局 (center@healthcare.gr.jp)

○兵庫ヘルスケア& K-WAVE 講演会

日時：2017年8月27日(日)

場所：三宮コンベンションセンター
503号室

演者：相田潤(東北大学准教授), 岡賢二(吹田市開業), 藤木省三(神戸市開業)

参加費：6,000円(昼食代込み) 予定。

問い合わせ：丸山歯科医院

maruyama.dental@icloud.com

非会員の参加可能です。ぜひお問い合わせをお誘いのうえに参加ください。

○高松ワンデーセミナー

日時：2017年11月26日(日)

場所：高松市歯科医師会館 高松市歯科救急センター

参加費：会員歯科医師 8,000円

非会員歯科医師 12,000円

会員スタッフ 3,000円

非会員スタッフ 6,000円

※参加費はお弁当代を含みます。

○仙台ワンデーセミナー スタッフと学ぼう！ヘルスケア型診療導入セミナー

日時：2017年11月26日(日)

場所：ハーネル仙台

参加費(昼食代込)：

開業医 15,000円

勤務医・医局員 5,000円

スタッフ 3,000円(スタッフのみ参加の場合1人目は15,000円)

学生・研修生・大学院生 1,000円

※非会員の方も受講できます。

内容：歯科衛生士によるプレゼンなど

○福岡ウィステリアセミナー

日時：2017年11月12日(日)

場所：カンファレンス ASC

参加費：1人目 20,000円

2人目以降 3,000円/人

※医院単位での参加費です。お弁当代を含みます。

※非会員の方も受講可能です。

随筆 伍

椿

浪越建男（三豊市開業）

開業医となった平成6年は人生最大の分岐点だった。当時大学での研究は順調に成果が得られていて、恩師たちは大学で仕事を続けることを皆繰り返し勧めてくれた。大学への強い未練を振り切るように慌ただしく開院したのが6月上旬、季節はちょうど今頃である。

同じ職種としての仕事であっても、新しい環境で、新しい生活を始めると、日々心の中に様々な葛藤が生じる。前を見て進むしかないと解ってはいても、もしあのまま..」といつも考えてしまう自分がいた。

毎日何かに追われるような生活だったが、診療所が田畑に囲まれ、風や空、農作物からも季節を感じられことが救いとなった。緑に囲まれた環境だったが、建物の周囲に木々を植え、取り囲むことで風景にアクセントが生まれた。診療室を訪れる人たちが、窓から駐車場や庭の木々と花の彩りを見て、「緑がきれいですね」と口にする、子どもが褒められたようで嬉しい。

その緑の中で主役の座を獲得したのは椿である。いつの間にかこの花や葉、樹形に魅せられるようになった。あらゆるコネを使い、手段をつくし、欲しい椿苗を収集した。探し続けていた椿が入手できるとの電話があれば、釣りを中断し何時間も車を走らせ、山奥まで出かけたこともあった。百種、二百種と種類を増やし、数えるのをやめた頃には、周囲から「ツバキオタク」として認識されるようになっていた。今自宅や診療所の敷地は椿の木々と、鉢植えて埋め尽くされている。

椿の魅力についてよく聞かれる。「一輪で見ても生けても凛として、合わせて生ければ華やかです」と言いながら質問した人の知識や熱意にあわせ、対応することを覚えた。特定の物の魅力を共有する人たちの間には「阿吽の呼吸」のようなものが存在し、何故か心地良い時間や空間を作り出す。

私のいちばんの「ツバキ仲間」は母親である。花の咲く9月から4月にかけては、「あの椿は花と葉のバランスが絶妙だ」「この椿の花の色がいい」などと、電話口でも話し込んでしまう。空いた時間に椿畑に出かけ、気に入った枝を2、3本摘み玄関の花器に挿し、大きな枝を知人に届けながら、椿の季節を堪能する。

花の季節にはメジロが飛び交い、澄んだ優しい声があちこちから聞こえてくる。春の若葉の頃に目を凝らすと、糸くずのようなカマキリの幼虫が首をかしげている。そして梅雨前になると、裏の小さな川から蛍が飛び始め、椿の葉には小さな光の花がともるようになる。この小さな光を見ると、また分岐点となった6月という季節が来たことを知り、少し心がざわつく。

新月の下ひとり椿葉の小さな灯りを覗き込みながら、ふと「あと何年椿の花が見られるかな」と言った母親の言葉が気になった。電話をかけてみよう。湿った冷たい空気が頬を撫でる。



※本稿は、四国新聞（平成28年7月18日）の読者文芸欄に佳作として掲載されたものです。

ウイステリアProとアポイント管理職を 使ってみよう！ III (その9)



藤木省三 (日本ヘルスケア歯科学会副代表・神戸市開業)

*** 基本的な注意 ***

- ※ウイステリアなどのファイル名を変えないでください
- ※バックアップは毎日必ずとりましょう (日付ごとに一定期間を残しましょう。上書きコピーは NG !)
- *バックアップが必要なファイルおよびフォルダ*
 - ・ウイステリア Photo50
 - ・アポイント管理職 3
 - ・来院履歴 5
 - ・唾液量 5
 - ・抜歯履歴 5
 - ・処置履歴 5
 - ・PerioAssistant5
 - ・XRAssistant111
 - ・〈NewFile〉フォルダ (ウイステリアに取り込んだ画像の保存フォルダ)
- ※旧バージョンのウイステリアをご使用の場合はファイル名が一部異なります。

検索の基本

ウイステリアは FileMaker Pro というデータベースソフトで作られていて、入力されたデータを後から調べることが得意です。皆さんが苦勞して入力した様々なデータを使わずに寝かしておくのは、とてももったいないことです。今回はデータを調べる「検索」について基本を説明します。



図 1 ボタン群の「検索」ボタンをクリックする

検索モードにするには

検索できるモードに変更するには 3つの方法があります。

①ウイステリアの「検索」ボタンを使う方法

ウイステリアの画面の上にあるボタンの中の「検索」ボタンをクリックします (図 1)。これが一番簡単で安全な方法です。

② FileMakerPro のメニューを使う方法

ウイステリアの画面によっては「検索」ボタンがない画面もあります。その時は、FileMaker Pro のメニューを使って検索モードに変更します。FileMaker Pro のメニューから「表示」→「検索モード」で移行できます (図 2)。

③ショートカットを使う方法

先ほどの FileMaker Pro のメニューの横のところに、内容とともにショートカットのキーが表示されています。Mac なら「command」+「F」、Windows なら「Ctrl」+「F」のキーを同時に押すことで検索モードに変更できます。慣れればとても便利ですが、間違ったショーカットを押すと予想

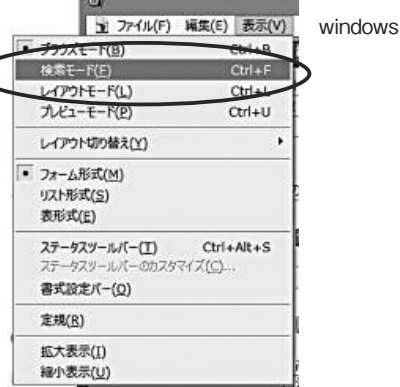
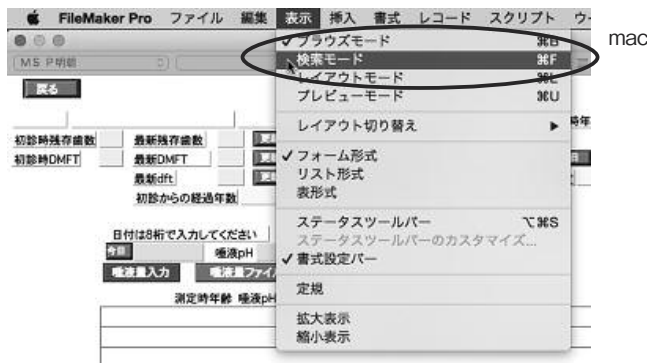


図 2 メニューバーから「検索モード」を選択する。(右に表示されているのがショートカット)



図3 ドロップダウンリストから検索する



図4 ふりがな欄で検索すると漢字変換不要

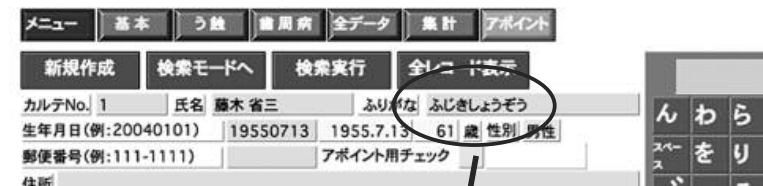


図5

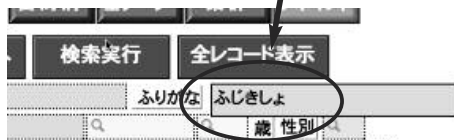


図6 必要最低限の文字を入力して検索可能



図7 検索結果

外の動作になることもあるので、慣れないうちは②の方法がお勧めです。ただ、最後に述べている絞り込みの検索をする場合にショートカットを使わないとできない画面もあるので、ここで説明しておきます。

テキストの検索

「あの患者さんの写真みたいなあ」「あ～、あの人誰だっけ？ 名前だけ覚えているんだけど」「この1年間の患者で重度歯周炎は何人いるのだろう？」「私の担当患者さん何人いるのかな？」って思うことは毎日あると思います。そういうときには、ふりがなや氏名、担当者のフィールドを使って検索すれば一発です。ここでは、文字の検索について幾つかの方法を説明します。

①ドロップダウンリストから検索する方法

ウイステリアでは、担当者、歯周病進行度などドロップダウンリストからデータ入力できるフィールドは薄緑色に設定されています。そのフィールドでは、検索モードにしたときでもドロップダウンリストが使えるので、これを使うと入力間違いがおこらないので安心です(図3)。

②テキストをすべて入力して検索する方法

患者の氏名を検索する場合はふりがなフィールドを活用すると、変換する必要がないので便利です。氏名がわかっている場合は、ふりがなで氏名を入れて検索するのが便利でしょう。私の医院では、ふりがなの入力では「姓」と「名」の間にはスペースを入れずに「ふじきしょうぞう」と続けて入力しています。そうしておけば、検索する場合でも「ふじきしょうぞう」と一気に入れて検索ができます(図4)。スペースが入っていると、一旦「ふじき」で確定して、スペースを入れて、さらに「しょうぞう」を確定しなければなりません。

③テキストの頭から一部入力して検索する方法

FileMaker Pro の検索では、「ふじきしょうぞう」「ふじきまさこ」「ふじきまさひろ」が入力されているときに、「ふじき」で検索すると3人もも検索されます。しかし、「ふじきしょ」まで入れて検索すると「ふじきしょうぞう」だけしか選択されません(図5-7)。これを知っていると、長い名前をすべて入れずに途中まで入力して検索させることも

できます。ちょっとだけ、楽になります。毎日のことなので、ちょっと楽になる方法を知っていると「使おうかな」と思う気持ちになるのではないのでしょうか。

④テキストの末尾だけ知っている場合の検索方法

名字は忘れてしまったけれど、名前は「ひろき」だったなあ、とわかっているときは、「*（アスタリスク）」+「ひろき」で検索すると、「ともひろきくこ（途中で『ひろき』がある）」は検索されずに、目的の末尾に「ひろき」がついた人だけが検索されます（図 8）。もちろん、この方法は漢字でも使えます。「*麻子」で検索すると、「大西麻子」「田中麻子」など末尾が麻子の名前の患者が検索されます。「アスタリスク」は検索モードの演算子のリストから選択できます（図 9）。



図 8 *を付けて検索すると末尾を検索可能

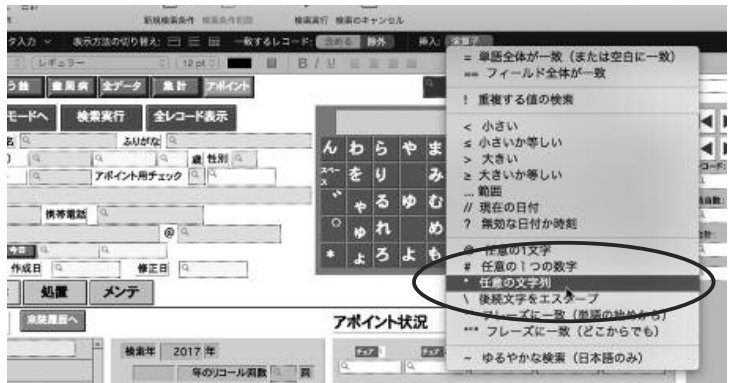


図 9 検索するフィールドにカーソルを入れて「*任意の文字列」を選択すると「*」が入力される

数字の検索

①決まった数字を検索する方法

最新の DMFT が「0」の子どもを調べたい！と思ったことはありませんか？ そういうときは、「最新 DMFT」のフィールドに「0」と入れて検索します（図 10）。このように、検索したい数値が決まっている場合は、検索モードにして目的の数値を入力して検索実行してください。



図 10 検索したい数値を入力して検索

②以上、以下、より大きい、未満を使いたい場合

メンテナンス 5 年以上の患者、最新の DMFT が 1 以上、BOP が 20 %未満、など一定の数値よりも小さい、あるいは大きい場合を調べたいことがあるでしょう。その場合は、演算子を使います。例えば初診時年齢が 5 歳未満を検索したいときは、演算子のリストから「<」を選択して「<5」と入力して検索します（図 11）。この方法は、日付の 8 桁入力しているフィールドでも使えます。例えば、最新の歯周精密検査を 1 年以内におこなった患者は、最新の検査日のフィールドに「> 20160615」というように入力して検索をおこないます（図 12）。



図 11 演算子「<」を追加して検索

③範囲を決めて検索する方法

0 歳から 9 歳、10 歳から 19 歳のように範囲が最初から決まっている場合の検索の方法は、「10...19」のように半角のピリオドを 3 つを小さい値と大きい値の間にに入れて検索します（図 13）。「...」は演算



図 12 日付も演算子を追加して検索可能



図 13 範囲をして検索



図 14 日付で期間を区切って検索



図 15 空白があるレコードを検索



図 16 複数の条件を入力して検索も可能



図 17 集計画面のボタン群

子のリストから選択することも可能です。

日付の検索

う蝕画面、歯周病画面の初診日フィールドのように、日付タイプ（例：2015.3.15）で表示されているフィールドでも数字と同じように演算子を用いて検索することが可能です。初診日が2000年1月1日から2004年12月31日の患者を検索するときは、「2000.1.1...2004.12.31」と入力します（図14）。

空白フィールドの検索

データベースに毎日間違いなく入力するのは結構大変です。うっかり入力を忘れてしまうことも考えておかなければなりません。その時に、空白を調べる方法を知っていると便利です。空白を調べるには、「=」を入れて検索します。この例では、初診時残存歯数が未入力の患者を検索しています（図15）。

複数条件の検索

場合によっては、初診日が2000年1月1日から2004年12月31日、初診時年齢40歳から49歳、歯周病進行度が中等度の患者というように複数の条件で調べたいこともあると思います。その際は、検索モードにして、それぞれのフィールドに検索条件を入れて検索実行します（図16）。

絞り込み検索

今の条件で、さらに男性と女性に分ける、あるいは喫煙経験ありとなしでわけて検索したい場合は、検索条件変更の機能を用います。ウイステリアの集計画面で作業している時は「検索条件変更」ボタンをクリックすると、今までの検索条件が残されたまま検索モードに切り替わります（図17）。そして、必要な健康条件を追加して検索実行します。検索条件変更は何度でも繰り返すことができます。

しかし、う蝕画面や歯周病画面では「検索条件変更」ボタンがありません。その際には、ショートカットキーを用います。Macなら「command」+「R」、Windowsなら「Ctrl」+「R」で検索条件変更が可能です。

次回からは、このような検索機能を用いた活用法を述べていきます。



お勧め ウィステリア バックアップシステム

木下真千子（鈴鹿市開業）

つい最近、長年愛用していたスマートフォンが破損し、やむなく機種変更せざるを得ないことがありました。パソコン関係に疎い私は、バックアップを数年前に行ったきりだったため大量のデータを失ってしまいました。

当院にウィステリアを導入し約2年になります。こんな私なので当然最初はバックアップを取っておらず、まあ大丈夫か、と高を括っていましたが、周りの方からバックアップは大切と言われ、外付

けハードディスクを購入しました。自分でフォルダを作成し、バックアップ！ができればよいのですが、やはり毎日ではできていない状態でした。そんなときにウィステリア専用のバックアップソフトがあると聞き、早速アクセスさんから購入しました。購入といってもソフトはメールで届き、入れ方も簡単で何よりソフトを立ち上げボタンひとつクリックするだけで全データのバックアップができたのです！ バックアップってこんなに簡単

なの?! と感動しました。しかもこの手軽さを得られるには十分なお値打ち価格で、分からないことがあっても、アクセスの森一弘さんがとても丁寧に対応してくださり本当に安心しました。かなりめんどくさがり屋の私ですが、現在ほぼ毎日バックアップができています。

蓄積するデータは医院の宝です。自分のところは大丈夫、と過信せず、日々データ管理に携わるスタッフ、患者さん、そして自分自身のためにも、ウィステリア専用バックアップソフトにであえて本当によかったと思います。

お勧めですよ！

ボタン1つクリックでバックアップ



ウィステリア使用上の注意点 1

森 一弘（アクセス代表）

今回は、ウィステリアの「カルテ No.」の取り扱いでおこるトラブルについてお伝えします。

ウィステリアでは「カルテ No.」の扱いは非常に重要です。と言うのも、この「カルテ No.」を中心にデータが管理されているからです。技術的な専門用語では「リレーション」と言うのですが、これは簡単に言うと「つながり」と訳すことができ、ウィステリアでは患者さんの「氏名」ではなく「カルテ No.」をキーとして、色々な情報を管理しているのです。

注意点 1【半角スペースと全角スペース】

「カルテ No.」の後に「半角スペース」や「全角スペース」を入れてしまうトラブルは、実は潜在的にかなりのユーザー様がおこしています。この現象が起こる原因としては、文字変換にスペースキーを使うという動作にあります。パソコンに慣れていない人ほど反射的に変換動作でスペースキーを押してしまう癖があります。これが逆に「カルテ No.」の後に「半角スペース」や「全角スペース」を入力してしまう結果になり、トラブルのはじまりなのです。

このケースがやっかいなのは、ユーザーから見て、「カルテ No.」の後にスペースが「入っている」「入っていない」は、見た目は同じにしかみえません。例えばスペースを黒塗りにした場合「12345」と「12345 ■」のような違いになり、これはパソコンのデータとしては全く別の「カルテ No.」と判断されるのです。

さらにこの点がやっかいなのは、ウィステリアのバージョンによってトラブルの現れ方がわかります。「ウィステリア ver.3.0」のバージョンでは、この「カルテ No.」の後に半角や全角のスペースを入れてしまっても、実はトラブルはおこりません（写真の取り込みをしないう場合）。問題はバージョンア

ップで、現在の最新ウイステリアは「ウイステリア ver.5.1」になるのですが、旧バージョンからデータを引き継ぎ、「カルテ No.」に半角や全角のスペースが入っていた場合、先ほどの「つながり（リレーション）」がおかしくなる場合があるのです。

このトラブルが現れる場所は、「過去の来院履歴」「抜歯入力」「処置入力」「アポイント状況」「PerioAssistant」です。これが新バージョンにアップしたとたんに見えなくなる場合があります。これは今まで入力したデータが消えているのではなく「カルテ No.」の違いによる「つながり」が途絶えた現象です。加えてアポイント管理職に「カルテ No.」を入力しても「氏名」が入ってこない現象も起こります。

さらに、ウイステリア Pro4.0 以降では、その他に「Photo2」の組写真機能が追加されていますが、これも同じようなトラブルの対象になります。

過去のデータが見えない現象については、データが消えているわけではないので、「カルテ No.」に含まれる「スペース」を消してしまえば復旧するのでご心配なく。ただし長年のユーザー様の場合、多くのデータがこの現象に見舞われている場合もありますので修復は苦勞するかもしれません。必要な場合は専門家に相談した方がいいでしょう。

「カルテ No.」の後ろにスペースが入っているかどうかを見分けるには「基本画面」の「カルテ No.」欄の入力された数字の末尾から 3～4 ミリ後ろをクリックしてみてください。「12345」のように末尾の数字から少し離れてカーソルの点滅が入っている場合はそのスペースが入っていますので、そのスペースを削除してください。

ウイステリア Pro4.0 から「半角スペース」については、入力できないように禁則処理がなされており入力その

ものができません。ただし「全角スペース」は入力できてしまいます。

特にネットワークで不特定多数のスタッフでウイステリアを使う場合は、それぞれパソコンに対する使い方の癖がありますので、このトラブルは起こりがちです。最初からスペースが入ってしまった場合、使っている途中から入れてしまった場合、様々なケースがあり、これによってトラブルの起こり方もかわってきます。

今まであったデータが突然なくなっている場合、この「カルテ No.」によるトラブルをまず疑ってみてください。

☆ アクセス

〒 842-0033 佐賀県神埼郡吉野ヶ里町豆田 2103-13

TEL.0952-51-1776 ・ FAX.0952-51-1767

携帯 090-1920-7894

URL <https://www.access-dental.jp/>

URL <http://www.access-pcdoc.jp>

E-mail kazu@access-pcdoc.com

Doプロジェクト調査協力診療所募集 2016年初診患者実態調査

調査 1

初診患者実態調査 (2016 年全初診患者についての多施設調査)

※ 認証診療所の更新要件になっています

※ 調査の目的：

- 1) 日本ヘルスケア歯科学会の会員診療所の協力により調査を行い、日本における歯科疾患の状況を把握することを助ける資料とし、今後の歯科医療環境の改善に役立てる。
- 2) 歯科医院に来院する初診患者の状況を把握して、診療室における診療システムの改善に役立てる。

※ 調査参加資格：

- 1) 日本ヘルスケア歯科学会会員の診療所
- 2) 初診患者について以下の資料があること
5 歳から 20 歳：DMFT
20 歳以上：DMFT、残存歯数、歯周病進行度、喫煙経験。
但し、初診患者全員について、すべての項目のデータが揃ってなくてもかまいません。例えば 1 日しか来院がなく、残存歯数のデータしかない場合も可。
- 3) 資料をデジタルデータで提出（マニュアル有り）。

※ 調査対象患者：2016 年 1 月 1 日から 2016 年 12 月 31 日に来院した初診（診療室に初めて来院）患者全員

※ 資料提出期限：2017 年 10 月 30 日

※ 参加申込：2017 年 9 月 16 日

※ その他：患者さんを匿名化して提出していただいたデータは、事務局で診療所名を匿名化したうえで集計します。結果はニュースレターあるいは会誌にて公表します。

ヘルスケア フォーラム

広島大学にてセミナー開催

2017年3月26日 広島大学

報告



山本修平（神戸市開業）

2017年3月26日（日）に広島大学でセミナーをする機会があったので報告します。

日本ヘルスケア歯科学会では、「学生や研修医が希望すれば講演料や交通費の負担不要で話を聴ける企画がある」という話を聞いたヘルスケア歯科学会会員のご子息（広島大学歯学部現6年生）からの依頼で、藤木省三さんと二人で講演してきました。

学生側からは普段あまり一般開業医の話を聞く機会がないので、どんな治療をしているのか、歯科医師という職業は将来性があるのか、といったことを聞いてみたい、という要望があり今回の企画となりました。

11時ぐらいに広島駅に着くと当日はカープのオープン戦もあり赤一色、広島県民のカープ愛を感じつつ、まずは広島焼きを食べて腹ごしらえをして講演に臨みました。

13時からの講演では歯学部の学生、衛生士科の学生合わせて十数名の参加がありました。

まず藤木さんは「ホームデンティストのProを目指して——健康を守り育てる歯科医療の実践」という題で講演しました。カリオロジーやペリオドントロジー

の病因論に始まり、資料を採る大切さ、チーム医療の大切さなど普段の大学の講義では聞けない話を熱心に聞いてくれました。

そして私が「やまもと歯科の3年間の変遷」ということでどのようにヘルスケア型診療を導入していったか、どのように臨床が変わっていったかをお話しました。

講演後の質疑応答では事前質問をもらっていたのでそれに一つひとつ答えていきました。今の学生の興味、悩みというのは「自分たちの就職どうなるか」や「歯科医師という職業が斜陽の産業なのでは」というものでした。また女子学生の出席も多く「女性でも開業できるのか」、「結婚して子どもができて働けるか」など、将来に対する不安がみなさん大きいと感じました。

講演後にアンケートを書いてもらいました。「歯周外科やインプラント、審美歯科、など派手なものに目が向いていたが、患者さんと長くつきあえるホームデンティストもいいと思いました」「チーム医療が大事なことがよくわかりました」「資料を取る大切さがわかりました」などと学生にはとても新鮮な内容だったようでした。

早速女性開業医のところに見学に行った女子学生もいたようで、少なからず何かに響いてくれたようです。

今回、歯学部の学生向けに講演してきましたが、少しでも予防の大切さをわか

ってもらえたら嬉しいです。そしてこれを機会に一人でもヘルスケア型診療に興味を持ってもらえたらなあと思います。

企画育成委員会では、大学の学生や研修医、医局員向けの予算を確保しているので、講演の希望があれば高橋啓さんまで連絡してください。

とても刺激になり早く歯科医師になりたいと思われた1日



岡 矢人（広島大学歯学部
歯学科6年生）

今回、広島大学に藤木省三先生と山本修平先生に来ていただき、先生方が実践している「ヘルスケア型診療」「ホームデンティスト」についての説明をしていただきました。その中で印象的だったことが、1人の患者さんと長くつきあうこと、そして予防型の歯科治療の大切さです。

患者さんの生涯管理をしっかりしていくことでホームデンティストの役割を果たし、症状悪化の予防をしていくことの大切さは、現在臨床実習で見学と介助をしておりその中で理解できることが多分にありました。今まで僕は、これとは反対に臨床実習で目にする審美歯科や補綴治療にとっても感心が向いており、そこが最終的な治療のゴールだと考えていました。

しかし藤木先生と山本先生の話聞いて、何よりも歯科疾患を未然に防ぐという重要なことを改めて再認識させられました。

また、僕たちは6年生になると同時に将来の不安や悩みも出てくるようになり、藤木先生と山本先生にディスカッション形式でそれに答えていただきとても有意義な時間を過ごせました。学生の悩みで多かった事項は、「歯科医師過剰によるワーキングプア」や「勤務先として大学病院と一般開業歯科医院とどちらが

いいのか」といった事柄です。歯科医師過剰については、現在ネットでかなり言われるようになり学生の不安の種となっていました。しかし先生もおっしゃったように真面目に治療をしている人にワーキングプアになっているような先生はいないという言葉にとっても安心しました。また、勤務先については、正直僕も含めて学生は派手な謳い文句のある歯科医院や給料だけで判断してしまう節があります。これから歯科医院の見学があるので色々話を聞いて判断していく必要があ

ると感じました。

最後に、一番印象に残ったことがあります。それは、藤木先生の言葉の中で「40年間歯科医師をやってきて本当に素晴らしい職業です」という言葉です。これには、僕をはじめ学生たちは感動しました。それと同時に歯科医師になるためにまず国家試験合格のために勉強をしなければいけないとモチベーションがとも上がりました。今回の講演はとても刺激になり早く歯科医師になりたいと思われた1日でした。



東京ベーシックセミナー

2017年5月21日 東京八重洲ホール 地下ホール

参加して



江田政嗣（歯科医師・
若井歯科医院勤務）

今回日本ヘルスケア歯科学会の東京ベーシックセミナーに参加しヘルスケア型診療について復習するいいきっかけになりました。

私は研修医を終了してから今年で5年目になります。研修医を終了してすぐに現在の若井歯科医院に就職しました。就職してすぐに5月の東京ヘルスケアスタッフミーティングに参加しました。その頃はタバコも吸っていました。

そこでヘルスケア型診療のことを初めて知り、新たな歯科治療の考え方を教えてもらいました。当院でも当時からヘル

スケア型診療を導入していたので自然と診療の流れや方法を理解し、実践することは難しくありませんでした。タバコもやめました。

そこから約4年たち、インプラントや欠損補綴の勉強もするようになりました。しかし、欠損の原因となるう蝕や歯周炎を予防することを忘れていました。虫歯を見つけては削って詰めるというような従来型診療をしてしまっている自分がいました。

今回5名の講師の方の話聞いて、「規格性のある記録」、「病因論に基づいた診療」、「チーム医療」、「定期管理」、この4本の柱の重要性を教えてもらいました。まず規格性のある記録を残すことで患者さんの病態の変化を診て再評価ができること。次に病因論に基づいた診療を行うことで適切な治療介入の判断ができ、かつ正確な情報を患者さんへ提供できること。次にチーム医療を行うことは、患者さんの情報を共有でき病院全体で患者さんを診ることができること。そして定期管理を行うことで、病態の変化に気づき、いち早く治療への介入を可能にす



ること。以上のことが患者さんと長くかわることができ、患者さんの健康を守り育てることに繋がるということを再認識できました。

4月から新しいスタッフも増え今回のセミナーにも一緒に参加することができました。一緒にヘルスケア型診療を行うことで歯を診ることと人を診ることを教えていこうと感じた1日でした。

林浩司先生による「ヘルスケア型医院にしてみても」

蓮見愛さんの「診療の流れについて」



柳澤朱音、岡部菜摘
(歯科衛生士・若井歯科医院)

私は、歯科衛生士になって初めてセミナーに参加させていただきました。今回のセミナーでは、ヘルスケア型歯科医院と従来型歯科医院の違いについて知るこ



とができました。

また、それぞれの歯科医院の特徴や工夫されている点をお聞きして、私が勤務している歯科医院とは違った方法を取り入れており、とても勉強になりました。なかでも、はやし歯科医院、林浩司先生による「ヘルスケア型医院にしてみても」、杉山歯科医院の歯科衛生士の蓮見愛さんによる「診療の流れについて」の二つの話に、とても興味を持ちました。

林浩司先生による「ヘルスケア型医院にしてみても」では、従来型診療とヘルスケア型診療の違いについて、チーム医療の大切さ、患者さんとの信頼関係がとても大切だと、改めて感じました。私の医院でも、先生やスタッフの方々に技術はもちろん、患者さんに向かう姿勢や言葉

遣いなど、コミュニケーションをとるうえでとても重要なことを、改めて指導していただいています。林先生のお話では、まず信頼を得るために、患者の話の傾聴、歯ではなく人を見る、患者一人ひとりの理解力に応じて説明を行う、という言葉が、とても心に響きました。

蓮見愛さんの「診療の流れについて」では、スタッフ間での情報の共有化、共通理解をすることにより、患者一人ひとりに合った対応をすることにより、大きなミスを防止でき、スタッフ全員がその患者を理解することに繋がると感じました。私の医院でも、スタッフ全員の目に入るような色のメモ用紙に注意事項を書いて、受付がカルテに付し、情報共有をしています。これにより、患者とスタッフ



間での情報共有も可能になり、患者との信頼関係にも役立つと考えます。

その他、歯周病やう蝕の話をお聞きして、歯科衛生士として、適切な知識を患者に提供できるように、まずは自分自身で知識を深めて、興味を持つことが重要だと感じました。今回のセミナーは、歯科衛生士という仕事を続けていくうえで、基本を学ぶ充実した一日となりました。



“ヘルスケア歯科医院は衛生士だけじゃない！”

東京ヘルスケアグループの“東京ヘルスケアスタッフミーティング”が、6月18日に川口駅前にある市民ホール「フレンディア」で開催されました。

いつもは歯科衛生士にスポットライトが当たっていますが、この日は“ヘルスケア歯科医院は衛生士だけじゃない！”をメインテーマに、9時30分、趣旨説明に引き続き、沼澤デンタルクリニック

の助手・高見由紀恵さんの元気な「プラス思考でEnjoy 歯科助手Life」で始まりしました。

次いで20分ずつの発表が3題、①「歯医者に勤めた保育士が学んだこと」原真理さん、服部有美さん（渡辺歯科）、②「勤務して9年目～私が続けてこれた理由～」吉森真由美さん（川嶋歯科）、③「受付を含めた情報共有の工夫」高橋麻衣さん（若井歯科）、休憩を挟んで予め決められた数人ごとのグループに分かれ「自院の情報共有法」と「やりがい



感じる瞬間」をテーマに2回のスモールグループ・ディスカッションが行われました。

遅い昼食の後、午後は、全員で杉山精一さんの講演を聴講しました。杉山さんは、「ORCAへの参加を経験して」と題した楽しい海外の学会などのお話の後、う蝕の病因論（マイクロバイオーームを理解して新しいう蝕の病因論を知る）とそれを踏まえた杉山歯科のカリエスリスクアセスメントの試みを紹介し、併せて臨床例の紹介と質疑で閉会、一同雪崩をうって懇親会へと急ぎました。



「変化を診るメンテナンス」

日時：2017年10月8・9日（日・月祝）

抄録

10月9日 9:40～10:50

口腔内マイクロバイオームの代謝機能：「何があるのか？」から「何をしているのか？」へ

高橋信博（東北大学大学院歯学研究科 口腔生物学講座口腔生化学分野 教授）



OMICS 技術の進歩に伴い口腔マイクロバイオーム研究は新しい時代に入った。特定の細菌を対象とする時代から、構成細菌の網羅的分析（何があるのか？：メタゲノム解析）の時代へとシフトし、さらに代謝機能の網羅的分析（何をしているのか？：メタボローム解析）へと展開しつつある。

口腔マイクロバイオームは、口腔部位によって特徴的でありながらも調和した代謝機能を持ち「健全な常在菌叢」を形作る。しかし、その代謝機能のバランスが崩れるとう蝕や歯周炎を発症する。

歯肉縁上プラークには、主にミュータンスレンサ球菌以外のレンサ球菌やアクチノマイセスが生息する。これらの細菌は糖代謝による酸産生によって酸性環境を形成し、さらに酸性環境に適応することによって酸産生能を増強し、う蝕を発症させる。確立した酸性環境は、耐酸性能の高いミュータンスレンサ球菌や乳酸桿菌の定着を促進し、う蝕を進行させる。一方、歯肉縁下プラークにはフゾバクテリウムやプレボテラが生息する。これら

の細菌はタンパク質・アミノ酸代謝によってアンモニア・硫化物・短鎖脂肪酸を産生し、炎症を惹起すると共に環境 pH を中性にする。この環境は、栄養要求性が高く酸性環境に弱いジンジバリス菌に適しており、その結果、ジンジバリス菌の定着を促進し、歯周炎を進行させる。

このように、う蝕や歯周炎の発症プロセスは、特定の細菌種に原因を求める「特異的プラーク説」よりも、マイクロバイオームを生態系と捉え環境との相互作用の中で病原性が発現するとする「生態学的プラーク説」に適合しており、プロセス進行の主たる駆動力は代謝機能である。

「何をしているのか？」、すなわち口腔マイクロバイオームの代謝機能が明らかになれば、健全な共生 (symbiosis) から病的な状態 (dysbiosis) へのプロセスが理解できる。プロセスが理解できれば、より有効な予防や治療はもろんのこと、より有効な薬剤や食品の評価・開発も可能となることが期待できる。

10月9日 11:10～12:00

根面う蝕を知る——う蝕管理のターゲットは歯冠部から歯根部へ

福島正義（新潟大学大学院医歯学研究科口腔保健分野 教授）



近年、フッ化物応用の普及と口腔衛生行動の変容などにより現代型う蝕といわれる小児および若い世代の歯冠う蝕は減少・軽症化している。一方、有歯顎高齢者の現在歯数は増えている。多くの歯が残れば歯周疾患に伴う歯肉退縮によって歯根面が露出し、古代型う蝕といわれる根面う蝕の増加が懸念される。とくに要介護高齢者、放射線口腔乾燥症患者や訪問歯科診療の現場などで見られる成人のランパントカリエスである多発性根面う蝕の対処に苦慮していることが聞かれる。歯根部のセメント質や象牙質はコラーゲン主体の有機成分を含み、脱灰臨界 pH はエナメル質より高い。これはエナメル質う蝕のリスクが低くても、根面う蝕にはかかりやすいことを意味している。また、根面う蝕の進行には無機成分の酸脱灰と有機成分のタンパク分解が伴うため、エナメル質う蝕の予防法が必ずしも根面う蝕の予防に効果的とはいえないように思われる。歯の長寿化が進むなかでう蝕の予防

と治療は歯冠部（エナメル質）から歯根部（セメント質・象牙質）に目を向ける時代が来ている。

根面う蝕の多くは日常的に清掃性の悪い隣接面歯頸部からの発生頻度が最も高いといわれている。しかし、視診によるう蝕の発見が歯冠部う蝕に比べて困難である。とくに、う蝕が歯肉縁下に及んだ場合や隣接面歯頸部に存在する場合にはう蝕病変が確認しづらい。そのため、修復処置において窩洞形成中に歯肉出血させたり、原発う蝕を取り残しやすく、窩洞外形の設定に迷うことが多い。また、歯周ポケットからの滲出液や唾液に対する防湿が困難であるために修復操作も困難である。そのため、一般臨床での修復物の予後は修復材料の選択よりも術者の修復技術に依存するところが大きいと思われる。したがって、う蝕の修復処置よりも歯肉退縮の主因である歯周病の予防メンテナンスを基盤にした非侵襲的な予防・慢性化療法の治療戦略を優先的に考えるべきである。

変化を診るメンテナンス

ヘルスケアミーティング 2017

メンテナンスって… 変化を診ることだったのだ!

2017年10月8・9日(日・月祝)

秋葉原コンベンションホール (千代田区外神田 1-18-13 秋葉原ダイビル 2F <http://www.akibahall.jp/index.html>)

10/8 開場 12:30 開会 13:30

13:30 趣旨説明：杉山 精一
 13:35 変化を診るために：藤木 省三
 14:20 変化を診るために必要な実践例から：高橋 啓
 15:10 休憩
 15:25 中期症例を経験して気づく変化とは：千草 隆治
 15:55 長期症例からみえてくること：藤木 省三
 16:40 質疑応答 (座長：藤木)
 17:00 交流会 (同会場にて)
 ~18:10
 18:30 懇親会 (TRATTORIA Alioli : 秋葉原 UDX 1F)
 ~20:30

参加費	会員	非会員
歯科医師	12,000 円	15,000 円
その他	5,000 円	8,000 円
懇親会	4,500 円	
申込登録をした学生・研修医	無料	

10/9 開場 9:00 開会 9:30

9:30 趣旨説明：杉山 精一
 2016年のカリエスリスクアセスメントの見解
 9:40 講演1：高橋 信博 (東北大学大学院歯学研究科 教授)
 口腔マイクロバイオームの代謝機能
 「何がいるのか？」から「何をしているのか？」へ
 10:50 休憩
 11:10 講演2：福島 正義 (新潟大学大学院医歯学研究科 教授)
 根面う蝕を知る
 ーう蝕管理のターゲットは歯冠部から歯根部へ
 12:00 昼食休憩
 13:00 認証診療所、認定歯科衛生士、ポスター表彰など
 13:20 変化を診るためのカリエスリスクアセスメント：杉山 精一
 13:45 診療室でのカリエスマネジメントその1：田中 歯科クリニック
 14:30 休憩
 14:40 診療室でのカリエスマネジメントその2：さいとう 歯科室
 15:25 ディスカッション (座長：杉山)
 高橋 信博 福島 正義 斉藤 仁 田中 正大 杉山 精一
 16:10 閉会

お知らせ・ご注意

- ・お申し込み FAX 受理後、事務局より振り込み案内をお届けします。振り込み手数料はご負担ください。
- ・事前にキャンセルされた場合は、手数料を差し引いた参加費を返金します。但し9月末日以降の場合は、ご返金できませんので、ご了承ください。

お申し込み・お問い合わせ…

下記申込み欄にご記入後、事務局まで FAX または郵便にてお送りください。

〒112-0014 東京都文京区関口 1-45-15-104

一般社団法人 日本ヘルスケア歯科学会事務局

FAX : 03-3260-4906 TEL : 03-5227-3716 <http://www.healthcare.gr.jp/>



PC, スマートフォン, ケータイからもお申し込みいただけます。

参加申し込み Fax. 03-3260-4906

参加を申し込みます (news20-3)

ヘルスケアミーティング 2017 参加申込み (会員専用)

(必要項目ご記入、該当□欄に✓印を記入ください)

フリガナ	会員番号:	フリガナ	会員番号:
ご氏名	<input type="checkbox"/> 会員歯科医師 <input type="checkbox"/> 会員その他 <input type="checkbox"/> 懇親会 <input type="checkbox"/> 非会員歯科医師 <input type="checkbox"/> 非会員その他	ご氏名	<input type="checkbox"/> 会員歯科医師 <input type="checkbox"/> 会員その他 <input type="checkbox"/> 懇親会 <input type="checkbox"/> 非会員歯科医師 <input type="checkbox"/> 非会員その他
フリガナ	会員番号:	フリガナ	会員番号:
ご氏名	<input type="checkbox"/> 会員歯科医師 <input type="checkbox"/> 会員その他 <input type="checkbox"/> 懇親会 <input type="checkbox"/> 非会員歯科医師 <input type="checkbox"/> 非会員その他	ご氏名	<input type="checkbox"/> 会員歯科医師 <input type="checkbox"/> 会員その他 <input type="checkbox"/> 懇親会 <input type="checkbox"/> 非会員歯科医師 <input type="checkbox"/> 非会員その他
勤務先・診療所名	参加申し込み人数	合計金額	
住所 〒		人	円
		電話番号	-
		FAX 番号	-